

播磨臨海地域道路(第二神明～広畑)都市計画に係る説明会 説明内容

スライド2

- ・播磨臨海地域道路は播磨臨海地域を東西に結ぶ新たな高規格道路で、全体計画は神戸市から太子町までの約50kmです。
- ・今回の説明対象は、神戸市西区の第二神明道路から姫路市広畑までの約32kmの区間となります。

スライド3

- ・これまでの経緯について、ご説明します。
- ・左側に「都市計画手続を含む、道路計画の検討」、右側に「環境影響評価手続」の流れを示しています。

【都市計画手続を含む、道路計画の検討】

- ・平成25年12月に国土交通省が「優先区間の絞り込み手続」に着手しました。
- ・「優先区間の絞り込み手続」は、「緊急性が高い区間について、整備を優先的に取り組む区間として決定する手続」で、地域の皆様へのアンケートやヒアリング調査を実施するとともに、有識者委員会での審議を経て、「優先区間」を平成28年5月に決定しました。
- ・平成29年3月に国土交通省が、「計画段階評価手続」に着手しました。
- ・「計画段階評価手続」は、「複数案の比較・評価を行うとともに事業の必要性及び事業内容の妥当性を検証する取組み」で、地域の皆様へのオープンハウスやアンケート・ヒアリング調査を実施するとともに、有識者委員会での審議を経て、令和2年11月に概略ルートを、4つの案から、内陸・加古川ルートに決定しました。
- ・その後、国土交通省から都市計画素案の基となるルート計画案が、令和4年11月に県・神戸市に手交されました。

【環境影響評価手続】

- ・計画段階評価手続と並行して、国土交通省により、環境影響評価手続が進められ、事業の早い段階で環境への配慮事項をとりまとめた「配慮書」が作成されました。
- ・その後、兵庫県が令和3年7月に、調査、予測、評価の項目、手法をまとめた「方法書」を公告・縦覧しました。方法書の手続では、説明会を5市2町の12会場で合計13回開催し、地域の皆様からご意見をいただいています。

スライド 4

- ・環境影響評価で調査、予測、評価を行う項目は大気質、騒音、振動などの 14 項目です。

スライド 5

【都市計画手続を含む、道路計画の検討】

- ・兵庫県と沿線市町が連携して、都市計画決定に向け、国土交通省の協力を得ながら、都市計画の検討を進めてきました。
- ・今回の説明会は、皆様のご意見を伺い、都市計画の案を作成するため開催しています。

【環境影響評価手続】

- ・調査、予測の結果と、環境保全措置を取りまとめた「準備書」を作成中です。「準備書」については、縦覧中に別途説明会を開催します。

スライド 6

- ・都市計画で定める事項です。
- ・区域については、縮尺 2500 分の 1 の平面図に道路の区域を示します。

スライド 7

- ・今回の計画区間は、第二神明道路から姫路市広畑までの 5 市 1 町を通過します。
- ・起点は神戸市西区の第二神明道路に接続する、明石西 JCT で、終点は、姫路市広畑の広畑 I C です。
- ・途中、加古川 JCT で国道 2 号バイパスの姫路方面と、姫路 JCT で国道 2 号バイパスの神戸方面、岡山方面、および播但連絡道路に接続します。

スライド 8

- ・播磨臨海地域の主要路線では、交通量に対し、容量が不足しており、国道 2 号バイパスや国道 250 号といった東西の主要幹線と、臨海部から国道 2 号バイパスにアクセスする南北道路で慢性的な渋滞が発生しています。
- ・このような交通状況により、次のような課題が発生しています。

スライド 9

- ・地域の課題の 1 つ目は、「慢性的な渋滞による経済活動への影響」です。
- ・臨海部の工業地域から、地域外への物流は、搬入・搬出ともに神戸・大阪方面が約 6 割で、主に国道 2 号バイパスが利用されていますが、慢性的な渋滞により、経済活動に影響が発生しています。

スライド 10

- ・地域の課題の2つ目は、「慢性的な渋滞による観光への影響」です。
- ・姫路市への観光客は、兵庫県の東側からの来訪が4割以上を占め、自家用車等を使った来訪が5割以上となっています。
- ・この自動車利用の観光客のうち5割以上が、国道2号バイパスを利用していますが、慢性的な渋滞により、速達性や定時制が確保できないといった影響が発生しています。

スライド 11

- ・地域の課題の3つ目は、「多発する交通事故」です。
- ・国道2号バイパスでの交通事故は、渋滞による速度低下が原因の一つと考えられる追突事故の割合が約8割で、県内の自動車専用道路の平均より死傷事故率が約2割も高くなっています。

スライド 12

- ・地域の課題の4つ目は、「災害リスク」です。
- ・沿岸地域の一部の主要幹線道路では、洪水や南海トラフ巨大地震に伴う津波が発生した際に浸水による通行止めが懸念されています。
- ・また、播磨地域の臨海部には、地震による液状化の危険度が極めて高い地域が広く分布しています。

スライド 13

- ・ルート帯の決定経緯についてご説明します。
- ・先ほどご説明した地域の課題を解決するため、政策目標を実現するための対策案として、播磨臨海地域を東西に結ぶ新たな道路ネットワークの形成を計画し、4つのルート帯案が設定されました。

スライド 14

- ・地域の意見聴取で、「製造業の活性化、投資促進」、「交通事故の削減」、「災害に強いまちづくり」について重視すべきとする意見が多かったことを踏まえ、3項目全てにおいて効果が期待できる「内陸・加古川ルート」が4つの案の中から選定されました。

スライド 15

- ・播磨臨海地域道路全体のルートとICの配置です。

スライド 16

- ・計画路線の概要です。

スライド 17

- ・第二神明道路や国道 2 号バイパスとの接続形態です。
- ・明石西 JCT では、第二神明道路の神戸方面に相互に接続します。
- ・加古川 JCT では、加古川バイパスの姫路方面に相互に接続します。
- ・姫路 JCT では、新たに姫路バイパスの神戸、岡山の両方面と、播但連絡道路に接続します。

スライド 18

- ・ジャンクションについて、3D モデルを用いたイメージ図でご説明します。
- ・明石西ジャンクションでは、第二神明道路に接続する計画であり、第二神明道路の神戸方面と往来ができます。

スライド 19

- ・加古川ジャンクションでは、国道 2 号加古川バイパスに接続する計画であり、国道 2 号バイパスの姫路方面と往来ができます。

スライド 20

- ・姫路ジャンクションでは、国道 2 号姫路バイパスと播但連絡道路に接続する計画であり、国道 2 号バイパスの神戸、岡山の両方面と、播但連絡道路の豊岡方面と往来ができます。

スライド 21

- ・姫路南ジャンクションでは、播磨臨海地域道路の神戸、岡山の両方面と、播但連絡道路や国道 2 号姫路バイパスに接続する計画です。

スライド 22

- ・高砂市に設置される高砂東インターチェンジ、高砂西インターチェンジ、伊保インターチェンジと、姫路市に設置される大塩インターチェンジについて、ご説明します。

スライド 23

- ・高砂東インターチェンジは、ハーフインターチェンジで東方向に対応しており、神戸方面と往来することができます。
- ・接続する一般道は、沖浜平津線となります。

スライド 24

- ・高砂西インターチェンジは、ーフインターチェンジで西方向に対応しており、姫路方面と往来することができます。
- ・接続する一般道は、サントリー高砂工場東側の市道となります。

スライド 25

- ・伊保インターチェンジは、ーフインターチェンジで東方向に対応しており、神戸方面と往来することができます。
- ・接続する一般道は、イオンタウン北側の都市計画道路、高須松村線となります。

スライド 26

- ・大塩インターチェンジは、ーフインターチェンジで西方向に対応しており、岡山方面と往来することができます。
- ・接続する一般道は、姫路シーサイドゴルフコース北側の市道となります。

スライド 27

- ・詳細なルートについてご説明します。
- ・加古川河口部のすぐ西側の、高砂市高砂町、荒井町周辺を示しています。
- ・赤色が播磨臨海地域道路の概ねの道路の区域を表しています。
- ・播磨臨海地域道路は、加古川及び堀川を渡り、高砂浄化センターの敷地を通過し、市道北東にある緑地内を通ります。
- ・その後、高砂小学校、高砂中学校、高砂公園を通過し、沖浜平津線と立体交差する手前で高砂東インターチェンジを設置します。
- ・そして、三菱重工業及び神戸製鋼の敷地を通過します。
- ・主な道路の構造は高架構造となります。

スライド 28

- ・法華山谷川（ほっけさんたにがわ）河口付近の高砂市荒井町、伊保町、曾根町周辺を示しています。
- ・播磨臨海地域道路は、三菱重工業、神戸製鋼等企業の敷地を通過し、サントリー東側の市道と接続する高砂西インターチェンジを設置します。
- ・その後、法華山谷川を渡り、イオンタウン北側を通り、イオンタウンの西側に都市計画道路、高須松村線と接続する伊保インターチェンジを設置します。
- ・そして、既に都市計画決定されている高須松村線の都市計画区域を通り、松村川、天川を渡り姫路市域へと向かいます。
- ・主な道路の構造は高架構造となります。

スライド 29

- ・左ななめ上が北向きになっており、高砂市と姫路市の市境付近の、高砂市伊保町、曾根町、そして姫路市大塩町、的形町周辺を示しています。
- ・播磨臨海地域道路は姫路市域に入った後、姫路大学と姫路シーサイドゴルフコースの間を通過し、姫路シーサイドゴルフコース北側の市道と接続する大塩インターチェンジを設置します。
- ・その後、大的（おおまと）中学校南側を通り、播但連絡道路に接続するため北向きに進みます。
- ・主な道路の構造は高架構造となります。

スライド 30

- ・左ななめ上が北向きになっており、播但連絡道路と国道 2 号姫路バイパスが接続する姫路ジャンクション付近の高砂市北浜町、姫路市的形町、別所町周辺を示しています。
- ・播磨臨海地域道路は、山陽電鉄本線、国道 250 号を高架構造で超え、トンネルや土工(盛土や切土)で西向きに進みます。
- ・その後、新たに設置する姫路南ジャンクションから播但連絡道へ接続するため北向きに進み、姫路ジャンクションにて姫路バイパスおよび播但連絡道に接続します。

スライド 31

- ・今後の予定について、ご説明します。
- ・皆様のご意見を踏まえ、都市計画案の検討を進め、次回の説明会では、「インターに繋がるアクセス道路」や「その他の関連する都市計画施設の変更」について、ご説明します。
- ・また、環境に関しても、環境アセスメントの手續として、準備書の縦覧期間中に説明会を開催し、皆様方のご意見をいただきます。これらについては、改めて、広報紙やホームページでご案内します。